新たな養殖技術開発　～高品質で安定的な養殖魚生産を目指して～

水産研究部

１．研究の背景

魚類養殖業は飼料の高騰などによる厳しい経営状況にある。こうしたなか、かぼすブリに代表されるカボスを餌に与えた養殖魚のブランド化が進んでいる。

これを加速するため、生産技術の他魚種への応用や、生餌から配合飼料（EP）主体に移行する現在のトレンドに対応することで、漁業経営の安定化を図ることを目的とした。

２．研究成果の内容・普及のポイント

（１）かぼすブリ等の生産技術を応用した新たな養殖魚生産のためのマニュアルを策定

・かぼすフグ生産マニュアル　　R4.7.28

・かぼすヒラマサ生産マニュアル　R6.2.1

（２）かぼすブリ生産のEP給餌生産技術開発

・ EP給餌を可能とする新たなカボス資材を開発

かぼす魚の種類拡大

新たなカボス資材

（上：オイル、下：新規パウダー）

３．期待される効果

（１）生産マニュアルによりかぼすフグ・かぼすヒラマサ生産の品質の高度化及び安定化

（２）飼料トレンドに対応したEP給餌によるかぼすブリ生産者・生産量の拡大

４．担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター水産研究部　養殖環境チーム

住所：佐伯市上浦大字津井浦１９４番地６　電話：0972-32-2155